

令和7年度 事務事業評価表 ( 令和6年度実績 )

<b>事務事業名</b>		モーターボート競走事業			<b>担当所属</b>	ボートレース管理課			
<b>基本情報</b>	<b>分野</b>	9都市経営		<b>事業期間</b>	～ 永年				
	<b>基本施策</b>	3 効率的かつ効果的な行政マネジメントの推進		<b>会計種別</b>	モーターボート競走事業会計				
	<b>推進施策</b>	3 健全な財政運営		<b>実施計画</b>		<b>総合戦略</b>			
<b>事業概要</b>	<b>対象</b>	モーターボート競走事業によって得られた収益をもって、市が提供する市民サービスの充実や、まちづくり施策の円滑な実施を支えます。							
	<b>意図</b>	モーターボート競走法（第1条、第31条）等に規定されているとおり、住民福祉の向上に寄与します。							
	<b>成果</b>	昭和28年の開設以来、旧徳山市時代を含め、令和5年度決算までで約790億円を一般会計へ繰り出した。							
	<b>手段</b>	今後も安定的にモーターボート競走事業を実施することで、その収益を一般会計へ継続的に繰り出し、住民福祉の向上や市の財政運営の健全化等に貢献します。							
<b>指標</b>	<b>活動指標</b>	<b>指標名</b>		<b>単位</b>	<b>R4年度実績</b>	<b>R5年度実績</b>	<b>R6年度実績</b>	<b>R7年度見込</b>	
		当年度純利益		<b>目標値</b>	千円	3003869	3581854	2755880	4818203
				<b>実績値</b>	千円	6539543.73	6251774.023	6094287.096	-
				<b>目標達成度</b>	%	217.7	174.5	221.1	-
<b>コスト</b>	(単位：千円)								
	<b>トータルコスト</b>		<b>令和3年度 決算</b>	<b>令和4年度 決算</b>	<b>令和5年度 決算</b>	<b>令和6年度 決算</b>	<b>令和7年度 予算</b>		
	事業費		78,955,801	80,310,083	83,718,753	81,352,051	85,462,988		
	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0		
		県支出金	0	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0	0		
		受益者負担	0	0	0	0	0		
		その他	78,806,638	80,168,023	83,573,367	81,209,494	85,320,431		
	一般財源		0	0	0	0	0		
	<b>人件費合計</b>		149,163	142,060	145,386	142,557	142,557		
正職員		149,163	142,060	145,386	142,557	142,557			
正職員以外 (事業費集計済分)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
<b>人員</b>	正職員 (人)	21.00	20.00	18.00	19.00	19.00			
	正職員以外 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
<b>環境変化等</b>	<b>開始時の周辺環境</b>								
	昭和28年の開設以来、旧徳山市時代を含め、令和5年度決算までで約790億円を一般会計へ繰り出した。								
	<b>現状の周辺環境</b>								
合併の前後、一般会計への繰出しができなかった時代があったが、平成23年2月から「モーニングレース」を導入し、それ以降黒字に転じ、一般会計へ平成23年度決算から令和5年度決算で174.7億円を繰り出した。									
<b>今後の予想される周辺環境</b>									
発売形態割合が変化し、本場発売が年々減少するなか、電話投票などの広域発売が大きく伸びている。									
<b>評価</b>	<b>評価項目</b>		<b>評価</b>	<b>評価の理由</b>					
	妥当性	1. 市の関与（税金支出）	A	一般会計に繰出しを行い住民福祉の向上や増進に寄与することは妥当と考える。					
		2. 事務事業の目的（対象・意図）	A						
		3. 事務事業の目標（活動指標等）	A						
	有効性	4. 計画の実施状況	A	令和6年度は186日レースを開催し、854億円を売り上げた。					
		5. 目標（活動指標等）の達成度	A						
		6. 上位施策への貢献度	A						
		7. 事業成果の向上へのさらなる取組み	B						
	効率性	8. コスト削減へのさらなる取組み	A	モーターボート競走法に沿ったものであり、最適である。					
		9. 類似事業との統合・代替の検討	A						
10. これまでの実施手段		A							
総合評価	A	モーターボート競走事業の収益を一般会計へ繰り出すことを通じて住民福祉の向上に寄与。							
<b>改革案</b>	今後の実施方向性	維持							
	成果方向性	成果維持							
	コスト方向性	コスト維持							
	<b>改革効果（どのような効果が期待できるか）</b>								
新たなファン獲得に向けた取り組みや質の高いサービスを提供することにより、有力顧客を囲い込み、売上増が期待できる。									